

まちのこえへの回答 No.1 (大磯幼稚園、町営化に関して)

担当主管課：子育て支援課 (内線 342)

要望等内容	回答
<p>4月から入園予定の子を持つ母です。 幼稚園が民営化するにあたり、「反対の声が多かった」と説明を受けました。個人的には、民営化に期待している部分が大きかったので、少し残念です。そこで一つ情報を開示していただきたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民営化反対・賛成の割合 (大磯町全体と幼稚園・保育園利用者のどちらにも)</li> <li>・またその年代</li> </ul> <p>例えば、大磯町全体での反対が80%、幼稚園・保育園を利用している層の反対が20%だった場合、実際に利用している、利用するかもしれない層は、町営化ではなく「民営化」を望んでいるということになります。 その場合、本当にその声を無視していいのでしょうか。 町営化の決定がゆるがないとしても、なぜ民営化が反対なのか？という理由を知ることは大きな意味があるはずです。 また、賛成が多ければ、町営化に納得される方も増えるのではないのでしょうか。HPで公開も良いと思います。 より良い町営化に向けて、よろしく願います。</p>	<p>町政につきましては日頃より御理解、御協力いただきありがとうございます。 令和5年3月20日付けでまちのこえに投書いただいた「大磯幼稚園、町営化に関して」につきまして以下のとおり回答いたします。</p> <p>大磯幼稚園の町立認定こども園への移行につきましては、令和5年1月23日に在園児の保護者へ、令和5年1月26日には新年度入園児の保護者を対象とした説明会を開催しました。</p> <p>在園児保護者の説明会には町長が出席し、大磯幼稚園民営化に反対する町民の皆様の声を受け、町立園の設置に方針転換したことを説明いたしました。民営化に反対する数につきましては、アンケート調査を実施した訳ではありませんので、御意見にいただきました賛成・反対の割合や年代については具体的に御提示することはできません。しかし、町が民営化の検討を進めていた当時には、大磯幼稚園 PTA 役員から度々、要望書や陳情書などが町役場や町議会に提出され、町立のこども園を求める意見が表明されていきました。こうした状況も踏まえつつ、賛成・反対の両方の御意見に耳を傾け、町立園のあるべき姿、地域における役割を改めて認識した上で、より良いのは公の施設を設置することだと判断しました。</p> <p>町立の認定こども園を設置し、その存在を他市町にはない大磯町の子育て支援の魅力として発信していくことで多くの子育て世代を町に呼び込むことを目指しておりますので、町の考えをより多くの町民の方に御理解いただけるよう、町HP等において周知しなければならないと認識しております。</p> <p>なお、待機児童解消のため令和6年4月の開園を目指して本事業を進めておりましたが、令和5年4月の臨時議会では改修のための実施設計の予算を議会にお認めいただくことがかなわず、予定していた令和6年4月の開園は困難な状況となりました。</p> <p>町としましては、早急に次善策を検討し、1日も早く待機児童が解消されるよう、今後も子育て世代の皆様への御意見に対し真摯に耳を傾け寄り添いながら取り組んでまいります。</p>

まちのこえ受付日：R5.3.20

掲示日：R5.5.10